

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23年 12月 24日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3474100348		
法人名	(株)アーバン・ケア		
事業所名	グループホームはなみずき		
所在地	尾道市向島町立花3010-23 (電話) (0848) 20-2622		
自己評価作成日	平成23年11月20日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.hksjks.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3474100348&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成23年12月15日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>◎スタッフが皆、前向きな介護をしている。 ◎ワンフロアなので、屋内ではあるが、広々とした開放感がある。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>・一人ひとりの入居者の意見を聴き、個別の支援が優れている。（カラオケ、買い物、散歩など個別の意見をしっかり聴き、実現している） ・職員間のコミュニケーションを良くとるように配慮しており、意見をぶつけ合い、問題が大きくなる前に解決をしている。悩みなどもホーム長に話し、なんでも話せる体制作りを構築している。また、入居者とのコミュニケーションも良くとるように、ホーム長より職員に徹底している。職員から出た意見で、良いと思ったことは即実行し、その時々修正しながら運営を行っていることが特徴である。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	スタッフは入居者の皆様が、理念に基づき自分の力を発揮出来るように、常に工夫している。	開設時より「私たちは入居者の皆様が、基本的人権が保護され、安心して家庭的な環境の中で、生き甲斐をもって、生活できるように支援します」という理念を大切に運営している。また、朝の申し送り時には、唱和し、職員に徹底している。現在、自分たちで考えた、分かりやすい新しい理念を作成するように検討している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地元の行事に参加をしたり、施設内行事には、地域の方々に案内して交流を持っている。	町内会に加入し、地域の行事には、積極的に参加している。また、毎年、近隣の幼稚園児の訪問があり、歌や合奏などによる交流もある。また、ボランティアの方と一緒に、周辺の清掃活動への参加や花壇に花を植えたりする活動を行っている。	今後の活動として、事業所内で祭りなどを開催し、ホームを多くの地域住民の方に知ってもらい、交流を図っていくことが期待されます。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	入所に関係なく、地域の方の介護相談を受けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	出来るだけご家族に声を掛けさせて頂き参加していただき、意見を聞き、スタッフに伝え改善に向けての話し合いの場を設けている。	ホームより、現在の入居者の状態や、行事の報告を行い、理解してもらっている。また、家族より意見がでた場合は、ホーム職員や地域包括支援センター職員、市役所職員などが回答し、悩みなどを解消している。	
5	4	○市長との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	高齢者福祉課には頻繁に電話や直接出向くなどして、いろいろと相談し指導をいただいている。	市の職員には、ホームでのヒヤリ・ハット、事故報告などを行っている。また、同法人で事業所を新規開設する際の、相談にも行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>玄関はオートロックのため、外に出れない状態ですが、玄関によくいかれたり、開いたときに自然に出て行かれたりすると、付き添って外出援助させていただいています。</p>	<p>身体拘束については、外部の研修に職員が参加し、参加した職員は、ホーム内での伝達研修を行い、全職員に理解してもらっている。また、夜間は玄関を施錠し、日中は、外出される際は、職員が付き添うようにしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>研修にも参加し、報告の場を設け、スタッフが認識するよう心がけている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>後見人をされている方に話を聞き、入居者様のご家族に対応できるようにしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に充分説明を行い、不明な点のないよう家族にお聞きし、納得していただいている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族の面会時に、管理者・スタッフが普段の様子をお伝えし、要望・意見をお聞きするようにしている。</p>	<p>家族会を、2ヶ月に1回開催しており、意見や要望が出た際は、迅速に対処するようにしている。また、面会時などに、個別に話を聴き、なんでも話してもらいやすいような雰囲気作りを心かけている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	出来るだけスタッフの意見・要望を取り入れるようにしている。カンファレンスなどのときに提案していただく場を設けている。	月に1回、2時間程度カンファレンスを行い、運営に関する意見を小さなことでも職員間で出し合って改善している。例えば、食事形態のことや、パットのあて方などの意見が出され、職員間で話し合い、まずやってみて修正すべきところは修正して、より良いサービスとなるように努めている。	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	個人的に話を聞くようにし、働きやすい職場作りを常に考え、皆が長く働けるような職場整備に努めている。		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	スキルアップの為に研修には、出来るだけ参加するように働きかけている。他の事業所との情報交換にもつながると思っている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	思いはあるがなかなか実践につながっていない。しかし、交流会は実施して、井の中の蛙にならないように視野を広めたい。		
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	出来るだけ本人の生活環境を入手するよう、家族やサービス利用施設などからの情報を集め、安心できる場所を提供できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居が決定し、契約時に不安な点や要望をお聞きし、入居後もいつでも問い合わせ可能なことをお伝えしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>空室が出た場合、申し込み順に一応連絡させていただき、本人の状態・家族の意向をお聞きし、必要とあれば面接に伺い、まだ在宅希望されるといわれれば、保留とさせていただいている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>お一人お一人の得意な分野で発揮できるように支援させていただいている。歌と一緒に歌ったり、散歩に行くなど、全員で同じ事をするのではなく。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会もいつでもOK。外出・外泊も規制はなく、面会時も居室、あるいは人数に応じて、談話室を提供するときもある。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>地域のふれあいサロンや近所の方の面会にも、いつでも来ていただいている。</p>	<p>地域のふれあいサロンに家族が付き添い参加し、交流を図っている。また、以前からの馴染みの場所に、ドライブをしたりして気分転換を図っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	日中はリビングで過ごしていただくようにしている。体調が悪くない限りは、ほとんどリビングでTVを観たりお話をしたり、午前中は体操やストレッチに参加されている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退去されたご家族が面会に来てくださったり、入居者の皆様におやつを差し入れてくださる。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者がスタッフに不満を言いやすい人にももらしたり、「元気がないな」とか、異変に気付いたらゆっくり話を傾聴するようにしている。	ホーム長より「職員は聞き上手になるように」と話されており、聴くことの大切さを徹底し、入居者の意向を汲み取るように努めている。また、アセスメントは、職員が入居者の希望を聴き、ケアマネジャーに伝え6ヶ月ごとに作成している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族様やご本人様、またこれまで関わってこられた他事業所・他職種からの情報も含めて、一人ひとりの人生の歴史について把握出来るように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	バイタル・食事量・排泄・表情・心身・睡眠等の変化を、日々の申し送りですタッフ全員が把握出来るよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>ご本人様・ご家族様の意向に沿う介護計画になるように、主治医の指示を仰ぎながら、スタッフで検討・作成している。</p>	<p>家族の意向は、面会時や電話などで聞くようにし、6ヶ月に1回カンファレンスを行い、見直しをしている。また、カンファレンスでは、ホーム長、職員が様々な意見を出し合い、本人本位となるようなプランを作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>入居者の特変や気付きなどは、日々の申し送りで十分伝わるようにしている。短期のものもあれば長期試みないといけない課題もあるので。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>個々に問題点があげれば、即座に対応できるように勤めている。日々違うケアになるが、その人にどの対応が合うのか試行錯誤しながら支援している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>出来れば自立の方においては、早朝及び夕方の散歩は自由にさせていただきたいが、スタッフが同行しないといけない点で思案している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>提携医はありますが、地域のかかりつけ医の方には、引き続きお願いしています。</p>	<p>提携医が、月2回往診を行っており、入居者の状態の把握を行っている。また、入居前からのかかりつけ医がある場合は、かかりつけ医にホームまで来てもらい、診察の依頼を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員の勤務の日には、日常気になっている疾患の様子を報告し、アドバイスをいただいたり、患部を見ていただくなどして医師に報告が必要であれば、報告させていただいている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先に面会に行き、情報を聞くようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期に向けて家族の意向を聞き、状態の変化があれば、主治医に連絡し、出来るだけ本人が最期まで、ここで生活出来るように支援する。	点滴や酸素吸入、胃ろうなどの医療行為がある場合は、ホームで生活することは、難しいがそれ以外の場合の終末期の状態であれば、最期まで生活することは可能となっている。急変した場合は、協力医療機関が往診をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変があれば、まずは主治医に連絡、指示を仰ぐ。緊急を要する場合は、救急車対応となります。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	施設内では、昼間の避難訓練は実施していますが、夜間は無理かと思われます。	年2回避難訓練を実施している。1回は消防署参加で日中を想定した訓練で、ホーム内職員と入居者が参加して行なっている。非常時には、非番の職員も1～2分以内に駆けつけられる状態となっている。また、地域の方も参加しての避難訓練は行っていない。	夜間を想定した避難訓練を実際に行うことで、問題点などがでてくる場合があります。今後は、地域の方も参加しての避難訓練の実施などが望まれます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者さまは人生の先輩だという事を、常に頭に置くようにと指導している。特にプライドの高い人には、充分気を遣って言葉かけをしている。	一人ひとりの人格を尊重するうえで、入居者一人ひとりをよく知る必要があり、声かけの仕方を工夫している。声かけを統一することによって、入居者が安心して生活できるように配慮している。また、トイレの際、カーテンをしたり、ノックをしたりプライバシーが保たれるように支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	外出の支援・買い物やドライブなど、意思を尊重している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	出来るだけ入居者ペースに支援するように指導・声かけを行っているが、時にはスタッフサイドで、入居者様に不快な気分にもさせます。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	モーニングケア時は鏡を見てブラッシング。お出かけや行事の時には少し薄化粧も試みている。口紅だけでも喜ばれます。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	誕生日などには好きなメニューを取り入れたりしています。準備もテーブルを拭いたり、セッティングや食後はトレーを拭いてくださったり、食器を拭くのを手伝ってくださる。	食事メニューは、食事担当が入居者の意向を踏まえて、1週間分作成している。また、入居者には、できることは手伝って頂き、食事が楽しくなるように支援している。また、天気の良い日には、敷地内のウッドデッキで昼食をとり、季節を感じながら、穏やかに過ごせるように配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食べる量も個々にあわせ、形態も刻みやトロミをつけるなどしています。水分も出来るだけ提供したものは、全部飲んでいただくよう声掛けしている。または介助。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後、口腔ケアを実施。月に2回ハミングさんの口腔ケアも実施しているので、虫歯や義歯の不具合も早期に発見できる。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>定期的、あるいは落ち着かない場合は、トイレ誘導をしています。パット内に出していないときは、気長に座っていただき、排泄を待つなど、自立に向けた支援をしている。</p>	<p>個々にアセスメントを行い、排泄パターンを記録し、パットが濡れる前に、誘導するように心がけている。また、現在、布パンツの方も数名おり、排泄自立に向けて支援を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事の中に繊維質の食品を取り入れたり、室内の散歩・屋外への散歩など取り入れています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>ほとんど午後からの入浴ですが、時として午前中、もしくは入浴後でも、時と場合によっては随時入浴支援しています。</p>	<p>毎日、湯を沸かしているのいつでも入浴は可能だが、2日～3日おきに入浴を行っている。また、入浴時間は午後3時前後に行っている。入浴が楽しいものとなるように、声かけに注意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	皆さん、日中の傾眠がとても気持ちよさそうです。もちろん昼食後の静養の声掛けもしています。(一時間位)		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	服薬は全面的にスタッフ管理です。セット時には、充分気をつけ、服薬時も再確認しながら、誤薬のないよう心がけています。症状の変化にも早期発見なので、様子観察にて報告している。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	趣味をお持ちの方には、生かせるように支援させていただいています。出来るだけ楽しみを見いだせるよう支援している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	出来るだけ戸外へお連れするよう支援している。少しでも外の空気を吸っていただきたい。ご家族の方が定期的に外に連れて行ってくださる(限られた人ですが)	職員が入居者と一緒に散歩に行ったり、ドライブ、食材の買い物にいたりして気分転換できるように配慮している。また、職員の発案で世羅ワイナリー、福山動物園などに行き、外出、外食を楽しんでいる。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	金銭感覚のある入居者様においては、買い物に出たら自分で購入されます。それを楽しみにされている方もおられます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	施設の電話を使用していただき、ご家族や知人に電話をされたり、かかってきたら取り次いでいます。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	リビングに季節の草花を入れたり、直射日光が当たる場所は、カーテンを引くなどしています。	共用空間は、皆が生活する場であるので、温度管理などを徹底している。また、季節の花を飾ったり、入居者の季節の作品を飾り、季節を感じてもらえるような配慮をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	日中は居室ですごされたり、テーブル席で書物や塗り絵、ソファではTVを観たり、個々に自由に場所を変えて過ごされています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	馴染みの物を持ってきていただき、居室に置かれています。食器類も持って来られています。	各居室には、各々の好みで自宅より家具やテレビ、仏壇、写真などを持参して、自宅と同じような雰囲気ができるように配慮されている。	
55		○一人ひとりの方を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室入り口には、名前を判りやすく書いています。字が読みにくい方には、ドアに目印の物をつけてあげる。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームはなみずき

作成日 平成 24年 2月 10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域の付き合い	地域に密着した交流が少しずつでも広がるようにする	施設行事の時には、近所にチラシ等で案内（お知らせする）	
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。